

避難方法の定期的な確認を！

記録的な豪雨、強い勢力を保持した台風上陸、大地震等**大規模な自然災害が毎年発生**しており、いつ何時発生するのかわかりません。

それぞれが災害発生時に「命を守る行動」を実践できるよう、避難方法をご家族、ご近所の方で考える等**日頃からの心構え**を持ちましょう。

避難方法検討時のチェックポイント

☑ 周囲の危険を確認

- ・ ハザードマップの活用
- ・ 自宅、施設、勤務先等の立地
(例:裏が山、目の前が川)
- ・ 避難場所までの経路

☑ 避難場所の選定

- ・ 市町指定避難場所
- ・ 親族、知人宅(頑丈であること)
- ・ その場所までの距離
- ・ ルートの安全性

☑ 非常持ち出し品等

- ・ 飲料水、食品
- ・ 感染予防品
- ・ 貴重品(通帳、保険証、現金等)
- ・ 救急用品
- ・ ヘルメット、頭巾
- ・ 軍手
- ・ 着替え
- ・ 毛布
- ・ タオル
- ・ 携帯ラジオ

☑ 避難開始の時期

- ・ 気象情報
例:予報、警報、土砂災害警戒情報
- ・ 避難情報(警戒レベル)
- ・ 周囲の状況
例:水位、音、雨や風の強さ
- ・ 安全に避難できる時間の確保

☑ 避難が遅れたとき

- ・ 建物の高いところへ避難
- ・ 山手から遠い部屋で待機
- ・ 近くのコンクリート造りの建物等へ避難
- ・ 無理をして外に出ない

列挙した項目を確認しながら、それぞれの避難方法を検討し、内容を近い人と共有しましょう。

重要

大雨、台風、地震等災害の種類ごとに各項目を確認する！

災害によって、危険となる道や場所が異なる場合があります。

災害の種類ごとに危険な道・場所を確認し、ご自身で考えた避難方法が安全に避難できるかどうか確かめましょう。

災害発生時の状況をイメージし、安全に避難しましょう！

備えあれば憂い無し、積極的かつ早期の避難